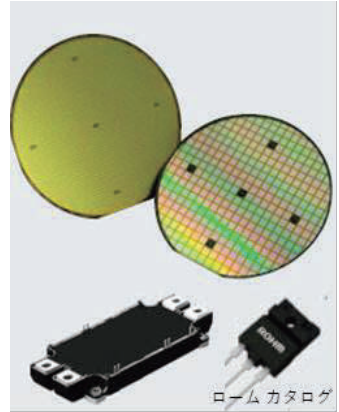


[A-1] 株式会社東海エンジニアリングサービス

愛知・岐阜・三重・名古屋 発
ビジネスプラン発表会 2024
(2024/10/16 ウィンクあいち)

ビジネスプラン名	レンズ金型用に培ってきた CVD 技術の半導体分野への展開事業						
代表者	代表取締役社長 井口祐介			設立年月	2001 年(平成 13 年)1 月		
所在地	〒509-0108 岐阜県各務原市須衛町 2-71						
業 種	窯業・土石製品製造業			資本金	10,000 千円		
従業員数	22 人			URL	https://tes2001.com/		
電話番号	058-337-0402	FAX	058-337-0521				
事業内容	ガラスレンズ成形用超精密金型およびその母材(CVD-SiC)の製造・販売						
【求める支援】	投 資	融 資	生 産 提携先	販 売 提携先	技 術 提携先	大学との 共同研究	海外進出 支援
【発表の目的】 事業拡大に向けて、弊社の技術力を知っていただくとともに、ともに高めていただける人材の採用や大学との共同研究につなげたいです。また、海外に拡販する上で、経験のない市場のため、ご支援いただきたいと思います。							
【ビジネスプランの概要・特徴】 EV や新幹線などに使われるパワー半導体(電気を変換する部品)の製造時に使われる超高純度なセラミック部品の製造という新事業に挑戦します。 ガラスレンズ成形用金型は、究極の精度と母材の技術を求められ、サブ μ (0.0001 mm) 以下の超高精度な製品を製造しています。この分野で鍛えた技術を応用し、半導体(特に SiC パワー半導体)製造時に使われる超高純度なセラミック部品の製造を行います。SiC パワー半導体は、従来の Si パワー半導体に比べ、大電流を効率よく変換することができることから、新幹線や電車などに採用され、省エネ化に貢献しています。特に、EV に搭載すると、走行可能距離が 6%程度伸び、また小型軽量化できるため、積極的に採用が広がっています。そのため、その製造に必要なセラミック部品の需要も伸びています。 本事業に取り組むことで、弊社の拡大・発展だけでなく、SiC パワー半導体の製造を支えることで、省エネ化・脱炭素社会への貢献をしたいと思います。							
							
				図 1 SiC パワー半導体 (ローム カタログより)			
【現在の進捗状況・今後の展開等】 ・現在、サンプルの顧客評価を受けており、良好なリアクションを得ています。 ・本格生産への対応と継続した技術開発をするために、新拠点として岐阜県の支援施設である「ベンチャーファクトリー」への入居が決まりました。 ・生産設備の設計・検討を進めています。 ・採用にも力を入れ、7 年ぶりに大学院生の新卒採用を内定しました。これからも、技術者の採用に力を入れていきます。 ・国内企業での本格採用後、海外展開も進めていきたいと思います。							
							
				図 2 入居するベンチャーファクトリー			
【想定される販路】 半導体に強い商社を通しての販売							